

町総合防災訓練に避難者272人 災害に備える心構え新たに

地震・津波災害と大雨による水災害を想定した町総合防災訓練が10月1日に行われ、津波避難訓練や避難所設置運営訓練などの訓練が、町内各所で繰り広げられました。山田中央団地では、山田消防署員による水消火器を使った初期消火訓練やAED（自動体外式除細動器）を使用した心肺蘇生法の実演体験が開かれ、参加者は万が一の災害に備える心構えを新たにしました。この日の避難訓練参加者は272人で年々減少し続けています。できることから災害への備えを始めましょう。



豊間根小・山田小の児童がカキの漁業体験 漁業を通じ食の大切さ学ぶ

地元漁業への理解を深めてもらおうと10月10日と12日、山田町魚市場付近の作業場で山田小学校（佐々木哲也校長、児童368人）と豊間根小学校（富澤広子校長、児童124人）の5年生78人がカキの漁業体験をしました。当日、子どもたちは漁業者の皆さんの説明を聞きながら、水揚げされたカキの付着物を取る作業を体験。その後は蒸しカキの食体験も行われ、参加した鎌田寧音さん（山田小）は「カキに色々な生き物が付いていて面白かったです」と、新鮮なカキを口いっぱいにはおぼっていました。

「下水道ツアー」に家族連れら110人 暮らしを守る「水の循環」の仕組み学ぶ

9月30日、道の駅やまだとクリエイトピュアやまだを会場に下水道ツアーが開かれ、家族連れなど約110人が参加しました。これは、町が町内に整備する下水道の仕組みを広く知ってもらおうと開催したもので、当日は汚水をきれいにして川に流す下水処理場や微生物の観察会などを見学。参加した親子連れらは、普段見れない施設を見学し、快適な暮らしを守る「水の循環」の仕組みを学びました。参加した、大須賀葉叶さん（山田小1年）は「色々な微生物がいて驚きました」と感想を寄せていました。



予防方法や社会参加の大切さなど学ぶ 「認知症セミナー」に134人

10月14日、町主催の「認知症セミナー」が町中央公民館で開かれ、町民134人が参加しました。当日は県立病院名誉院長の石木幹人さんが「元気で長生きできる街をみんなでつくろう」をテーマに講演。高齢者特有の疾患や認知症の症状などを紹介し「自分で予防のために取り組むことと、まわりの人たちとつながり支え合うことが重要です」と強調していました。客席の参加者らは何度もうなずいたり、メモを取ったりと認知症の予防方法や社会参加の大切さなどを学んでいました。



町のわだい

今月の題字 芳賀 あやか 絢香さん（船越小4年）

4年ぶりに町民駅伝大会が開催 18チームが健脚競い合う

10月8日、第39回町民駅伝大会が旧山田北小学校周辺で行われました。4年ぶりの開催となったこの大会には18チーム90人、7歳から78歳までの幅広い年齢層が参加。選手は1周1.8kmの5区間を、沿道に詰め掛けた観衆の声援を受けながら、ひとつでも順位を上げようと健脚を競い合いました。各部門の優勝チームは次のとおりです。
▶小学生男子の部…F C山田ヴェルエーニA ▶小学生女子の部…豊間根ミニバスA ▶中学生男子の部…山田町立山田中学校A ▶中学生女子の部…山田町立山田中学校▶高校・一般男子の部…王者盛附



町内各所で浦和レッズのサッカー教室 元プロ選手たちと交流

9月21日、22日、「浦和レッズハートフルクラブ」のサッカー教室が町内各所で行われ、児童生徒180人が講話や実技指導を通じ、交流を深めました。同教室は被災地の子どもたちの心のケアを目的に行われているもので、同クラブの訪問は今回で13回目。豊間根小学校（富澤広子校長、児童124人）では5・6年生47人が参加し、元プロ選手を含むコーチ陣と一緒に元気にボールを追いかける児童の姿が見られました。参加した佐々木優輝さん（5年）は「スポーツは競技だけでなく、思いやりの心も大切だということが分かりました」と感動した面持ちでした。

山田中吹奏楽部定期演奏会に300人 迫力ある演奏で観客を魅了

今年で27回目となる山田中学校吹奏楽部（後藤夢果部長、部員48人）の定期演奏会が10月8日に町中央公民館で開かれました。これは日ごろの成果披露や地域への感謝を伝える場を兼ねて毎年行われているもので、当日は約300人の観覧者が来場。迫力ある演奏で会場を沸かせていました。第1部では、金管八重奏やサクソフォン四重奏などの楽器ごとの演奏が行われ、第2・3部では合唱とダンスを交えた「ハナミズキ」や「ジャンボリミッキー」などのポップステージ、コンクール曲の「千と千尋の神隠し」などを披露し、観客を魅了しました。

